

# 湛水直播管理情報（第3号）

## ～ 湛水表面直播（鉄コーティング）～

平成30年6月1日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

今年の鉄コーティング直播の苗立ちは、圃場によって差がありますが、近年より少なくなっています。

今後は急激に茎数が増加しますので、生育状況を確認し、必ず溝掘りをし、**適期に中干しを開始**しましょう。

コシヒカリ直播生育調査結果（アルプス平均）				5月28日現在		
直播の区分	年度	播種日	苗立本数（本/㎡）	草丈（cm）	茎数（本/㎡）	葉齢（葉）
鉄コ直播	H30	5/2	57.3	13.3	58.0	2.7
	H29	5/3	77.2	19.8	96.0	3.9
	近年値（※）	5/3	70.9	15.8	84.0	3.4

※近年値：H26～H29

## 1. 水管理 ～溝掘り・中干しは適期に必ず行う～

### (1) 溝掘り

- 水管理をスムーズにし、中干しを効果的に行うため、中干し前に「**溝掘り**」を行きましょう。
- 溝は、圃場の周囲に加え、**5m（15条）に1本を目安**に設置しましょう。

### (2) 中干し・・・稲体と根の健全化を図るために、**適期に「中干し」を開始**しましょう。

○中干しの開始時期

播種時期	中干し開始時期の目安	
4月下旬～ 5月上旬	茎数 <b>320本/㎡</b> (1m間の茎数が100本程度)	<b>6月15日頃</b>



中干しの終了は、圃場中央部でくるぶしが軽く沈む程度を目安とする。

- 中干しの程度：土の表面に小さなヒビ割れができる程度に干しましょう（3～5日間落水）。  
(極端に強く干しすぎると、穂数不足や除草効果の低下につながるので注意して下さい。)

- 中干し後の水管理：中干し後から幼穂形成期まで**間断かん水**、幼穂形成期から出穂期まで**飽水管理**を行い、徐々に田面を固くし、出穂後20日間の湛水管理に備えましょう。

## 2. 病害虫防除 ～葉いもちの予防～

確実に病害虫の予防を行きましょう。

(※ルーチンFSの種子塗抹処理、箱施薬剤の播種時土中処理を行っている場合は除く)

薬剤名	対象病害虫	散布量	散布時期	使用上の注意点
オリゼメート1キロ粒剤	いもち病	1kg/10a	6月20日～25日	・田に水をためて散布し、散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しない。 ・湛水状態で散布する除草剤との併用は可能。
パダンオリゼメート粒剤	いもち病 ニカメイチュウ	3kg/10a		

## 3. 雑草防除 ～後期除草剤の散布～

雑草が残っている圃場では、雑草の種類や使用時期を確認し、後期除草剤を適期に散布しましょう。

適用雑草の種類	除草剤名	使用時期	10a当たり使用量	使用上の注意点※
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後25日以降 ノビエ4葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	1.5kg	・効果を高めるため、5cm程度の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は、使用をさける。
	クリンチャーEW	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	100ml 希釈水量 25～100ℓ	・落水状態でノビエの茎葉に確実に付着するように散布する。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤を加用する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ 等	クリンチャーバス ME液剤	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで (ただし、収穫50日前まで)	1000ml 希釈水量 70～100ℓ	・落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するように丁寧に散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・晴天日を選んで散布する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ等	アクシズ MX 1キロ粒剤	稲2葉期～ ノビエ4葉期まで (ただし、収穫45日前まで)	1kg	・5cm以上の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は、使用をさける。 ・水持ちの悪い水田、畦畔から漏水が多い水田は使用を避ける。
マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、オモダカ、 ミズガヤツリ等	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)	500～700ml 希釈水量 70～100ℓ	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・多年生雑草が局部的に発生している場合、スポット処理する。 ・晴天日を選んで散布する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ等	テッケン 1キロ粒剤	稲4葉期～ ノビエ4葉期まで (ただし、収穫60日前まで)	1kg	・稲4葉期以前の使用は避ける。 ・効果を高めるため、5cm程度の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は、使用をさける。

※ 除草剤を使用する際は、散布上の注意点を守りましょう。